

## 「GROU UP」 ～一歩ずつ成長（生長ではダメ）～

エペソ 4:13～16, I コリント 3:2～17

自然界のあらゆる動物や植物の中にはすぐに大きくなるものと、徐々に大きくなっていくものがあります。私達は多くの場合で自分にも人にも急激な変化を求めてしまい少しずつ成長することに目を向けることができないでいます。突然変異を求めているために、自分や周りの人を見ても、成長したとは見ることができません。しかし私たちは突然に変わることはできません。『ローマは一日にしてならず』歴史と積み重ねがあってこそ成長はあるのです。私たちはこのことに目を向けていないといけません。「せいちょう」には2種類あり、《成長》構造（内側）の発達と大きさ（外側）の増大が同時に起こること《生長》大きさの増大の面が強いという違いがあります。私たちは外側だけを大きくする事で満足するのではなく内側に成長をもたらしていかなければ意味がないのです。外側だけ生長した人は、奴隷としていつまでも従順を学ばされます。いつまでも学ぶ気持ちは大切ですが、人から聞くだけでは子供のままです。大人にいたるまでに、自分で考える能力を磨く必要があるのです。情報を神様から聖書を通して学ぶことが大切なのです。（エペソ 4：13～）私たちはそれぞれ役割を持っています。もしあなたの役割を体にたとえたら、どの部分になるでしょうか。自分の役割を理解しそれを果たしていくべきなのです。その様にして一人ひとりが真剣に役割を果たしていけば、同時にあなたの属している組織全体が成長していきます。組織の中の一部だけが成長したのでは働きを共有できません。だからこそ、あなたの置かれている組織の中で平等に成長することが大切なのです。そして、成長するためには感謝が必要です。排他的な価値観で生きている人が多くいる中、そのような価値観を学ぶべきではありません。今日は父の日ですが私たちが学び続けるためには、本当の父に帰る、つまり学ぶべきイエス様の姿を見て習う必要があるのです。（エペソ 4：14.15）イエス様は周りに流されることをせず成長すべきものに目をむけ続けました。私達は何かあるとすぐに子どものように感情の波にもあそばれてしまいます。流されてしまいます。だからこそイエス・キリストの土台に据えられる必要があるのです。（I コリ 3：9～）あなたは建物です。どれだけ土台がしっかりといても、その上にしっかりとした構造の建物を建てなければ意味がありません。何か問題が訪れたら消えてなくなるような人生設計ではいけません。だから成長してほしいのです。では成長はどこからもたらされるのでしょうか。脳の視床下部はあなたの感情を司っています。感情はあなたに与えられた本能です。「やらなくてはいけないことはわかっているができない」というのはこの本能が壊れているのです。この視床下部は感情と同時に衝動活動にも関係しています。あなたが衝動的にならないためには、感情をコントロールする、つまり日々の生活の中で感情に落ち着きを持つことが必要なのです。落ち着かない感情に色々な情報が入ってくるから「もういやだ」「できない」となるのです。お酒やたばこで麻痺させる・・・これはいわゆる逃避です。しかし逃避する人には成長はありません。感情をしっかりとコントロールすることを通して、私たちは成長するのです。あなたの価値観、意思、決定権が御言葉によって積み重ねられると逃げなくなります。そのためにもゲッセマネが大切であり、落ち着いた生活が大切なのです。そしてキリストにまで成長するために**①大変より小さな生長を見出す**。自分をガラッと変えてくださいといった祈りをするのではなく、日々の積み重ねを大事にしてください。「私たちは1日にして成らず」です。言われたことを日々着実に実行することが大切です。しっかりとあなたの根底を作り上げ、土台を築いてください。土台は御言葉にあるイエス・キリストの土台です。**②御言葉が糧**。あなたの内側を成長させる糧は御ことばです。外側だけ大きくても内側が無いのでは意味がありません。御言葉を学びあなたの内側をしっかりと成長させてください。聖書を読み土台がしっかりとしていればあなたの価値観は右往左往しません。私たちは、箴言に書かれているように、してよいこと、いけないことを学ぶ必要があるのです。人から聞いたり情報から得たりするのではなく、聖書を読み自分で考える必要があるのです。聖書（logos）は書物という意味で、世界で最初に言葉としてあらわした言葉です。神様はその言葉の中枢をあなたに与えたのです。「人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出る一つ一つのことばによる。」（マタイ 4：4）御言葉の糧を得てください。あなたのゲッセマネで御言葉を開きましょう。（I ペテロ 2：2）**③成長痛は忍耐**。成長する時は痛いものです。あなたも大きくなっているのだから成長痛は仕方ないのです。最終的に外側が衰えても、芯が強くなり土台が強くなるのが大切なのです。成長痛を忍耐しましょう。忍耐からすべてのことに感謝できる人格になるのです。あなたが神の前に正しく歩むためにこの3つのことを忘れないでください。小さなことを大切にすることで森を見てください。小さな苗を植えて、そこで成長するからこそその環境に順応した木に育つのです。そのために説明書である聖書を読んでください。あなたは家を何で建てていますか？「こうしたほうがよい」といわれているのに、藁で建てていることが多いのです。訪れる嵐の中をкаろうじて生きようとする人生はやめましょう。嵐なんて関係ない金の家を建ててください。そこにはこだわりが必要です。自分がこうあるべきだということにこだわってください。今日から、落ち着いてあなたのゲッセマネで聖書を読みましょう。これであなたの人生は必ず変わります。そして逃避せず、小さなことを大切に成長していきましょう。